令和７年度

事 業 報 告 書

自令和７年４月　１日

至令和８年３月 31 日

公益財団法人 日本健康スポーツ連盟

令和 7 年度事業報告書

目　次

事 業 報 告

1.事業の成果　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3-4
2.事 業 活 動　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4-19
［1］健康増進施設調査事業　・・・・・・・4-11
［2］人材育成講習会事業　・・・・・ 11-13
［3］メディカルフィットネス研究会事業　・・・・・13-19

総 務 報 告

1.評議員選定委員会　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20
1.評議員会　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20
2.評議員の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・20-21
3.理事会　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21-22
4.役員の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・22
5.監事監査　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・22
6.職員の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・22

(別表 1、別表 2)

1.令和 7 年度 健康増進施設の新規および更新施設リスト・・・・・23-25
2.令和 7 年度 指定運動療法施設の指定施設リスト　・・・・・・・26-27

事 業 報 告

1. 事業の成果

1-1　事業の経過及びその成果

当年度は、エネルギー価格や原材料費の高騰に加え、継続的な物価上昇の影響を受け、国民生活や事業運営を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続きました。また、少子高齢化の進行、人材不足の深刻化、地域コミュニティの維持に関する課題など、社会全体として健康づくりや介護予防の重要性が一層高まる一年となりました。

さらに、働き方やライフスタイルの多様化に伴い、心身の健康維持・増進への関心は引き続き高く、運動を通じた健康づくりの役割はますます重要性を増しております。

このような社会状況の中で健康増進施設認定基準の認知・普及を図るため、健康増進施設セミナーや学術大会の開催・運営に注力するとともに、関係団体・各学会が主催するシンポジウム等にも積極的に参加・協力し、健康増進施設制度並びにメディカルフィットネスの普及発展に努めました。

また、健康寿命延伸や運動を通じた疾病予防への社会的関心が高まる中、医療と運動の連携を推進する観点から、指定運動療法施設や運動型健康増進施設に関する情報発信・啓発活動にも継続して取り組みました。

さらに、メディカルフィットネス研究会事業につきましては、前年に引き続きフォーラムを開催し、医療・運動・地域連携に関する最新情報の共有と関係者間の交流促進を図りました。また、事業基盤の強化と活動のさらなる充実を目的として、賛助会員の募集・拡充にも積極的に取り組みました。

この結果、当年度の業績につきましては、経常収益では前年比で 4,614 千円増の 45,675 千円を計上、経常費用は前年比で 4,575 千円増の 45,590 千円となりました。

最終的に当期経常増減額は 84 千円の黒字となりました。

1-2　事業の総括と今後対処すべき課題

当年度は、健康スポーツ指導者養成事業、健康増進施設調査事業、保健指導事業、メディカルフィットネス研究会事業等の継続事業の充実と深化に努めるとともに、安定的な経常収益の確保に取り組んでまいりました。

メディカルフィットネス研究会事業におきましては、協力企業や関係団体との連携のもと、「メディカルフィットネス・フォーラム」を前年度に引き続き開催し、医療と運動の連携、健康寿命延伸、地域における健康づくりの推進に関する情報発信と交流促進を図りました。また、賛助会員の拡充や協力体制の強化にも継続して取り組み、事業基盤の安定化に努めました。

一方で、社会情勢の変化や物価上昇等を踏まえ、各事業における運営体制や業務内容の見直しを進め、経常費用の抑制と業務効率化にも注力いたしました。

今後とも、健康スポーツに関する調査・研究、指導者の養成、健康増進施設及びメディカルフィットネスの普及推進、並びに情報の収集・提供等を通じて、健康スポーツの普及振興を図り、国民の健康保持増進と豊かな社会の実現に寄与してまいる所存でございます。

2.事 業 活 動

［1］健康増進施設調査事業［公益目的事業 1 定款第 4 条第 3 号］

(1) 健康増進施設の認定制度に基づく調査事業を実施した

① 実施時期：令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日

② 新規認定数は３５施設（前年度４０施設）を実施した。　（P23-P24 参照）

③ 更新認定数は１９施設（前年度１５施設）を実施した。　（P25 参照）

④ 指定運動療法施設３５施設（前年度２３施設）を実施した。（P26-P27 参照）

(2) SPORTEC2025 において健康増進施設認定制度の普及啓発活動を実施した

健康増進施設事業では、令和 7 年 7 月 30 日から 8 月 1 日までの 3 日間、東京ビッグサイトにて開催された「SPORTEC2025」において、健康増進施設認定制度及び指定運動療法施設制度の普及啓発を目的としたセミナーを開催するとともに、展示ブースにおける制度説明及び個別相談対応を実施した。

近年、制度改正によりパーソナルジムや接骨院等の小規模施設においても認定取得が

可能となったことを踏まえ、制度概要や認定取得方法、実際の導入事例等について情報提供を行い、医療と運動の連携による新たな健康づくりのあり方について周知を図った。

また、展示会期間中は当連盟ブースにおいて、健康増進施設認定制度及び指定運動療法施設制度に関する個別相談・説明対応を実施し、フィットネスクラブ、パーソナルジム、接骨院等の関係者に対し制度の普及啓発を行った。7 月 30 日に開催したセミナーには約 60 名が参加し、制度活用に対する高い関心が寄せられた。

セミナー開催概要

開催日：令和 7 年 7 月 30 日
会場：東京ビッグサイト（SPORTEC2025 会場内）
主催：公益財団法人日本健康スポーツ連盟
参加者：セミナー参加者 約 60 名

プログラム構成および登壇者

公益財団法人日本健康スポーツ連盟 専務理事・事務局長　田中 尚子 氏
「フィットネスでも医療費控除！パーソナルジムや接骨院での指定運動療法施設取得方法」では、健康増進施設認定制度及び指定運動療法施設制度の概要、認定取得の流れ、施設基準、医療機関との連携体制、医療費控除制度の仕組み等について解説を行った。特に、制度改正により小規模施設でも認定取得が可能となった点や、疾患を有する方への安全な運動療法の提供体制について説明を行い、制度活用による施設価値向上の可能性を紹介した。

トレーナーズ株式会社 代表取締役　松尾 茂 氏
「指定運動療法施設事例セミナー　パーソナルジムの新たな収益の柱に挑戦」では、パーソナルジムにおける指定運動療法施設制度導入の背景や、医療機関との連携による新たな収益モデル、利用者サービス向上への取り組みについて事例発表が行われた。

株式会社大友メディカル ペガフィット 代表取締役社長　大友 康広 氏
「接骨院併設型メディカルフィットネス　指定運動療法施設認定までの道のりと出会い、新たな可能性」では、接骨院経営における新たな取り組みとして、医師の運動処方箋に基づく運動療法導入の経緯や、地域医療との連携による“治療から予防”への展開、持続可能な地域密着型メディカルフィットネスの実践事例について講演が行われた。

総括

本事業では、健康増進施設認定制度及び指定運動療法施設制度について、制度概要から実践事例まで幅広い情報提供を行い、制度活用の具体的イメージを共有すること

ができた。特に、パーソナルジムや接骨院等における制度導入事例の紹介により、医療と運動を融合した新たな地域健康づくりの可能性について理解促進を図ることができた。

また、展示ブースにおける個別相談を通じて、施設認定や医療連携に関する具体的な相談対応を行うなど、健康増進施設制度の更なる普及啓発に寄与する有意義な機会となった。

(3) 健康増進施設セミナー 大阪大会 2025

2025 年 11 月 16 日（日）に大阪府大阪市にて、「健康増進施設セミナー 大阪大会 2025」を開催した。本セミナーは、厚生労働大臣認定 健康増進施設・指定運動療法施設制度について、医療と運動施設の連携を中心に、その役割や今後の可能性について理解を深めることを目的として実施した。

近年、健康増進施設制度は、制度改正によりパーソナルジムや小規模施設においても認定取得が可能となり、運動療法や医療費控除制度を活用した新たな地域健康づくりの仕組みとして注目されている。本大会では、制度の最新動向に加え、医療機関と連携した運動療法の実践、地域における継続ケアの取り組み、民間スポーツクラブによる医療連携事例など、現場での実践事例を交えながら、多角的な視点から制度活用について紹介が行われた。

参加者は、医師、健康運動指導士、健康スポーツ医、フィットネス施設関係者、パーソナルジム運営者、行政関係者等を中心に約 160 名が参加し、会場では活発な情報交換と質疑応答が行われた。

開催概要

日程：2025 年 11 月 16 日（日）10:00～17:50
会場：大阪 YMCA 国際文化センター（大阪府大阪市西区）
主催：公益財団法人日本健康スポーツ連盟
後援：一般社団法人大阪府医師会
認定単位：健康運動指導士・健康運動実践指導者 更新単位、日本医師会認定健康スポーツ医制度再研修会

プログラム構成および登壇者

開会挨拶

水嶋 章陽（公益財団法人日本健康スポーツ連盟 理事長）

特別講演

「健康増進施設認定制度の現在と未来」
澤田 亨（早稲田大学 スポーツ科学学術院 教授）

教育講演Ⅰ
「医療と連携した運動療法に必要な情報と実践方法」
木村穣（関西医科大学 理事長特命教授）

事例セミナーⅠ
「運動器ケアと継続ケアの役割を担うメディカルフィットネス」
西村 貴宏（医療法人はぁとふる Eudynamics ヴィゴラストレーナー）

事例セミナーⅡ
「民間の総合型スポーツクラブと医療連携について」
前田 貴司（フィットネスクラブピノス洛西口店 店長）

教育講演Ⅱ
「エビデンスに基づく運動療法（退会防止）法」
菊賀 信雅（株式会社プロフィットジャパン代表取締役）

トークセッション
「医療とフィットネスの連携」
株式会社 Doctor's Fitnes 代表医師 宮脇大
株式会社岡山スポーツ会館 代表取締役専務、医師、健康運動指導士 江尻純子
株式会社アーバンフィット 代表取締役社長 山本景士
トレーナーズ株式会社 代表取締役 松尾茂

事例セミナーⅢ
「メディカルフィットネスの５年間の運営からの今後の展望」
武本優次（医療法人順興会上條診療所 理事長）

パネルディスカッション
講師・事例施設代表者・運動指導者による討論

懇親会
参加者・講師による情報交換会を実施

総括

本大会では、健康増進施設制度の最新動向に加え、医療と運動施設が連携した実践事例や、地域に根ざした継続的な健康支援のあり方について共有が行われた。

特に、現場における課題や工夫、制度活用による新たな可能性について具体的な紹介がなされ、参加者からは多くの質問や意見交換が寄せられた。

また、関西地域における健康増進施設制度の普及促進と、医療・運動分野の連携強化に向けた有意義な機会となり、今後の制度活用及び地域健康づくり推進に寄与する成果を得ることができた。

(4) 第 4 回 厚生労働大臣認定 健康増進施設 学術大会

当財団は、2026 年 3 月 20 日（金・祝）に東京都新宿区の早稲田大学大隈記念講堂において、「第 4 回 厚生労働大臣認定 健康増進施設 学術大会」を開催した。

本大会は、厚生労働大臣認定 健康増進施設及び指定運動療法施設制度について、医療・運動・地域連携の視点から研究成果や実践事例を共有し、制度の更なる普及と質的向上を図ることを目的として実施した。

また、厚生労働省による身体活動・運動分野の施策、健康増進施設制度の最新動向、医療機関と運動施設との連携、地域における運動療法の実践、生活習慣病予防及び健康寿命延伸に向けた取組み等について、多角的な視点から講演・シンポジウム・募集演題発表が行われた。また、募集演題については大講堂・小講堂の二会場に分かれて開催し、民間運動施設及び医療法人併設型施設双方の先進的事例が紹介された。

参加者は、医師、健康運動指導士、健康スポーツ医、医療機関関係者、運動施設関係者、行政関係者等を中心に約 195 名が参加し、各講演後には活発な質疑応答や意見交換が行われた。

開催概要

日程：2026 年 3 月 20 日（金・祝）10:00～17:20
会場：早稲田大学 大隈記念講堂 大講堂・小講堂（東京都新宿区）
主催：公益財団法人日本健康スポーツ連盟
共催：一般財団法人日本健康開発財団、早稲田大学スポーツ科学学術院
後援：厚生労働省、スポーツ庁、公益社団法人日本医師会
認定単位：健康運動指導士・健康運動実践指導者 講義 3 単位（認定番号 266056）

プログラム構成および登壇者

開会挨拶

水嶋 章陽（公益財団法人日本健康スポーツ連盟 理事長）

基調講演

「厚生労働省における身体活動・運動分野の取り組み」

清水 奈々（厚生労働省 健康・生活衛生局健康課 主査）

教育講演Ⅰ

「ライフコースから考える身体活動の意義と健康増進施設の役割」

田村 好史（順天堂大学大学院医学研究科 スポーツ医学・スポートロジー 教授）

募集演題（第1会場：民間企業・個人事業主等が運営する運動施設）

「札幌市におけるメディカルフィットネスの展開と医療費控除制度の実装」

野呂 章洋（株式会社NoLaBo エターナルフィット統括責任者）

「指定運動療法施設と産業医連携による医療・運動・産業保健を統合した働く人の健康支援」

大橋 永（株式会社なべふぁ CrossFit Aoyama コーチ）

「公益財団法人が運営する指定運動療法施設としての取り組み」

星野 陽子（公益財団法人北陸体力科学研究所 スポーツコミュニティダイナミック課長）

募集演題（第2会場：医療法人・医療機関が運営または母体となる運動施設）

「2型糖尿病患者に対してメディカルフィットネスを利用した運動効果判定」

武本 優次（医療法人上條診療所 理事長）

「整形外科併設の指定運動療法施設における多職種連携の実践」

東辻 洸一（RADY Functional GYM 施設管理者）

「地域資源と医療費控除を活用した生活習慣病管理への移行支援」

大島 仁（コンディショニングセンター37：MINNA 副事務長）

教育講演Ⅱ

「医療機関と運動施設との連携　運動処方について」

羽鳥 裕（医療法人社団はとりクリニック 理事長）

特別プログラム

「医師に問う スムーズな医療連携とは？」

太田 玉紀（日本メディカルフィットネス研究会 会長）
宮脇 大（株式会社 Doctor’s Fitness 代表医師）
長浜 隆史（NPO 法人日本運動療法推進機構 副理事長）

シンポジウムⅠ
「パーソナルジムが取り組む指定運動療法の事例」
松尾 茂（トレーナーズ株式会社 代表取締役）

「今、求められる健康増進施設の役割 ―えひめカルチャーセンターの取組―」
垂水 麻衣（えひめ文化健康センター 施設長）

「医療と運動施設をつなぐ実践知 ―くまもと運動資源マップを活用した運動療法・身体活動の促進―」
山下 亮（熊本健康・体力づくりセンター 課長）

シンポジウムⅡ・パネルディスカッション
シンポジウム講師及び施設代表者による討論
ファシリテーター：田中 尚子（公益財団法人日本健康スポーツ連盟 事務局長）、赤木 雄介（同 事務局次長）

表彰式
募集演題発表者に対する表彰を実施

懇親会
早稲田大学大隈ガーデンハウスにて開催し、参加者・講師・関係者による交流及び情報交換を行った。

総括
本大会では、健康増進施設制度の最新動向に加え、地域性や施設特性を活かした実践的な運動療法事例、医療連携モデル、生活習慣病予防及び健康寿命延伸に向けた具体的な取組みについて共有が行われた。特に、医療機関・運動施設・産業保健・行政等、多職種・多分野連携による健康支援の重要性について活発な議論が展開され、参加者からも高い関心が寄せられた。
また、募集演題では、地域課題に応じた独自の取組みや制度活用事例が多数発表され、健康増進施設制度の更なる可能性と今後の発展に向けた有意義な成果を得ることができた。

(5) 日本臨床運動療法学会学術集会

・開 催 日：9 月 13 日（土）～9 月 14 日（日）
・開催場所：順天堂大学
合同企画ジョイントセッション
「運動療法の実践現場 ～成功への道標～」に講師として参加

(6) 日本臨床スポーツ医学会学術集会

・開 催 日：11 月 2 日（日）～11 月 3 日（月・祝）
・開催場所：幕張メッセ　国際会議場
シンポジウム：日本メディカルフィットネス研究会合同シンポジウム
「パフォーマンス向上に寄与するメディカルフィットネス」に講師として参加

[2] 人材育成講習会事業 [公益目的事業 2 定款第 4 条第 1 号、2 号、4 号、5 号]

健康スポーツ指導者のための知識・技能向上、現場での実践的指導に役立つ内容の講習会を実施した。

健康スポーツ指導者が保有している資格の継続更新のための単位取得を兼ねた講習会も実施した。

(1) 腰部疾患への運動療法 病態別アプローチ講習会

本講習会は、腰部疾患に対する運動療法について、病態ごとの特徴を理解し、適切な評価とアプローチ方法を学ぶことを目的として開催した。

本講習では、腰椎疾患や姿勢不良による慢性的な腰痛に対し、体幹機能や柔軟性の改善を通じて症状軽減を図るための実践的な運動療法について、講義及び実技を交えながら実施した。特に、現場で活用できる評価方法や、個々の状態に応じた運動プログラムの組み立て方について、実技を通して学習した。

講師　理学療法士　四家卓也

・開 催 日：令和 7 年 10 月 14 日
・受 講 者：合計 50 名
・開催場所：国立オリンピック記念青少年総合センター
・主　　催：公益財団法人日本健康スポーツ連盟
・共　　催：日本メディカルフィットネス研究会

(2) 慢性的な痛みや不調を軽減する運動指導プログラム講習会

本講習会は、肩こり・腰痛・膝の痛みなどの慢性疼痛やスポーツ障害に対して有効とされる「SD 理論」に基づいた基礎的な実技を学ぶ初心者向けの講習会を開催した。

「SD 理論」とは、背骨や骨盤を含む体幹の支持性・柔軟性を回復させることで、重力に負けた姿勢から抜け出し、慢性的な不調の軽減や障害予防を目指すものである。

講習では、現場で簡便に行えるスクリーニング方法と、個々の状態に応じたプログラムの組み立て方を実技を通じて学習した。

講師 理学療法士 門田正久

・開 催 日：1 月 14 日
・受 講 者：合計 50 名
・開催場所：国立青少年オリンピックセンター
・主　　催：公益財団法人日本健康スポーツ連盟
・共　　催：日本メディカルフィットネス研究会

(3) 車いすフィットネストレーナー講習会、資格認定

講習会、資格認定実施のための教本編集の協力をした。

(4) 健康運動指導士受験対策模擬試験

・期　間：令和 7 年 4 月～令和 8 年 3 月
・受講者：合計 25 名、8 大学
・希望者に郵送、各自模擬試験実施

(5) 生涯スポーツトレーナー資格認定

会員者数総計：1,278 名

(6)「フィットネス・ウオーキング・インストラクター」資格認定

・時　期：9 月、3 月
・認定者：4 名
・更新者：11 名

(7) 推奨品認定基準に基づき認定事業を実施

次の商品を推奨品として認定した。
商品名「サントリー　GREEN　DA･KA・RA」
商品名「Perfect Water」
商品名「TAFU REHA シリーズ」

(8) 保健指導（介護・特定保健指導）

1) 東京都清瀬市介護予防事業の一部受託を 3 カ所で実施した

・事業内容：清瀬市の一般介護予防対象者及び要支援認定の対象者に運動セミナーを実施した。
・期　間：令和 7 年 5 月～令和 8 年 3 月
・対象人数：（20 名×３カ所）60 名
・開催場所：地域センター２か所、団地集会場

2）千葉県山武市特定保健指導事業の一部受託
・事業内容：千葉県山武市の特定保健指導の積極的支援の対象者の運動セミナー

3）千葉県白井市特定保健指導事業の一部受託
・事業内容：特定保健指導グループ支援対象者の運動セミナー

4）千葉県旭市生活習慣病予防のための運動教室の受託
・事業内容：生活習慣病予防教室

5）千葉県山武郡横芝光町の運動教室の受託
・事業内容：ノルディックウォーキング教室

6）健康保険組合、自治体等への単発の保健セミナーを実施
株)ベネフィットワン

［3］メディカルフィットネス研究会事業[公益目的事業 3 定款第 4 条第 1 号、2 号、4 号]
（1）メディカルフィットネス・フォーラム 2025 を開催した
（独立行政法人日本スポーツ振興センター助成金活用事業）

2025 年 8 月 1 日（金）・2 日（土）の 2 日間にわたり、「メディカルフィットネス・フォーラム 2025」を東京都江東区・有明セントラルタワーホールにて開催した。
本フォーラムは、医療と運動を融合させたメディカルフィットネスの可能性を共有するとともに、指定運動療法施設制度や健康増進施設制度を活用した運営事例、医療機関との連携、施設経営、運動療法の実践等について、多角的に情報共有を行うことを目的として開催した。
今年度は、医師、医療従事者、健康運動指導士、トレーナー、施設経営者、指定運動療法施設、健康増進施設、介護・リハビリ関係者等、全国各地から多数の関係者が参加した。また、メディカルフィットネス関連企業による展示ブースも設置され、最新機器やシステム、運営支援サービス等の紹介が行われ、会場は活発な情報交換の場となった。

開催概要

日時：2025 年 8 月 1 日（金）13:00～17:50
　　2025 年 8 月 2 日（土）10:30～17:00
会場：有明セントラルタワーホール（東京都江東区）
主催：公益財団法人日本健康スポーツ連盟、日本メディカルフィットネス研究会

参加対象者：医師、トレーナー、医療従事者、健康運動指導士、施設経営者、リハビリ関係者等

参加対象施設：メディカルフィットネス、健康増進施設、指定運動療法施設、フィットネスクラブ、パーソナルジム、介護施設等

プログラム構成および登壇者

【8 月 1 日】

開会挨拶
水嶋 章陽（公益財団法人日本健康スポーツ連盟 理事長）

特別講演Ⅰ
「メディカルフィットネス指導者のパフォーマンスを高めるスポーツメンタルトレーニング」
荒井 弘和 氏（法政大学文学部心理学科 教授）

特別講演Ⅱ
「ピリオダイゼーションに合わせた栄養戦略とコンディショニングについて」
松本 恵 氏（日本大学文理学部 体育学科 教授）

実技セミナーⅠ
「Spine dynamics®コンセプトからの身体改善について」
門田 正久 氏（株式会社ケアウイング 代表取締役）

実技セミナーⅡ
「アセスメントを元にした、マシンサーキットトレーニング！」
楠 紳太郎 氏（株式会社シグマ Medical fitness Re-Birth）

運動療法実習セミナー

「内科的疾患とメディカルフィットネス：現場対応のリアル」
二階堂 暁 氏（八王子みなみ野心臓リハビリテーションクリニック 院長）

【8 月 2 日】

会長講演
「施設存続のために大切なこと」
太田 玉紀 氏（日本メディカルフィットネス研究会 会長）

特別講演
「運動・身体活動の健康効果：ライフコースに基づく最新の知見」
根本 裕太 氏（神奈川県立保健福祉大学大学院 講師）

事例セミナーⅠ
「総合型メディカルフィットネスの運営について」
井場木 祐治 氏（メディカルフィットネス＆スパ Nice BeaT 浜松）

事例セミナーⅡ
「リハビリから運動習慣へ ～医療とスポーツの連携による健康支援～」
百瀬 能成 氏（百瀬整形外科スポーツクリニック 院長）

事例セミナーⅢ
「営利法人×医療法人のシナジーにより予防医療の壁を乗り越える」
佐伯 輝明 氏（株式会社 SHARE 代表取締役）

パネルディスカッション
事例セミナー講師及び日本メディカルフィットネス研究会委員による討論を実施した。

展示ブースでは、テクノジムジャパン株式会社、株式会社 hacomono、株式会社タニタ、CYBERDYNE 株式会社等、多数の関連企業が出展し、メディカルフィットネス施設運営に関する最新機器・システム・サービスの紹介及び体験展示が行われた。

総括
本フォーラムでは、医療と運動を融合したメディカルフィットネスの実践事例や、施設経営、医療連携、運動療法、メンタルサポート、コンディショニング等、幅広いテーマについて共有が行われた。特に、現場における具体的な課題や実践的ノウハウにつ

いて活発な情報交換が行われ、参加者からも高い関心と多数の質問が寄せられた。
また、展示企業との交流を通じて、最新の機器やシステム、運営支援サービス等に関する理解が深まり、今後のメディカルフィットネス施設運営及び健康増進施設制度の更なる発展に寄与する有意義な機会となった。

(2) メディカルジャパン幕張 セミナー2025
(独立行政法人日本スポーツ振興センター助成金活用事業)

当財団は、2025 年 10 月 2 日（木）に幕張メッセにて開催された「メディカルジャパン幕張」会場内において、「メディカルフィットネスセミナー」を開催した。

本セミナーは、医療と運動を融合したメディカルフィットネスの可能性や、健康増進施設・指定運動療法施設制度の活用について、医療従事者、運動指導者、施設運営者等に向けて広く情報共有を行うことを目的として実施した。
近年、生活習慣病予防や健康寿命延伸への関心が高まる中、医療機関と運動施設が連携したメディカルフィットネスの需要は拡大しており、本セミナーでは、施設運営、心臓リハビリテーションとの連携、生活習慣病管理、会員定着施策等について、実践事例を交えながら多角的な講演が行われた。会場では、多数の医療・運動関係者が参加し、活発な情報交換が行われた。

開催概要

開催日：2025 年 10 月 2 日（木）
会場：幕張メッセ（メディカルジャパン幕張 会場内）
主催：公益財団法人日本健康スポーツ連盟／日本メディカルフィットネス研究会
認定単位：
午前の部（10:00～11:30）講義 1.5 単位
昼の部（12:30～13:30）講義 1 単位
午後の部（14:30～16:00）講義 1.5 単位

プログラム構成および登壇者

「メディカルフィットネス　～健全な施設運営を目指して～」
太田 玉紀
（日本メディカルフィットネス研究会 会長／医療法人宮仁会 猫山宮尾病院 内科部長／メディカルフィットネス CUORE センター長）

「メディカルフィットネスが地域で果たす役割 ～糖尿病専門医の提案～」
徳山 隆彦

（医療法人社団 THY とくやまクリニック 院長）

「メディカルフィットネス事業立ち上げから展開まで」
神谷 貝巳
（医療法人社団和風会 メディカルフィットネス事業部 部長）

「今注目される『メディカルフィットネス』開業で必要なこと」
村上 勇
（株式会社ドリームゲート 代表取締役）

「メディカルフィットネス施設での集客と会員定着の為の運営法」
菊賀 信雅
（株式会社プロフィットジャパン 代表取締役）

「メディカルフィットネスと心臓リハビリテーションの融合」
福島 新
（医療法人新楓和会 あざぶハート・内科クリニック 理事長）

「生活習慣病管理におけるメディカルフィットネスの可能性」
濱野 剛
（上町はまのクリニック 院長）

パネルディスカッション
「講師によるパネルディスカッションを実施」
ファシリテーター：
二階堂 暁（八王子みなみ野心臓リハビリテーションクリニック 院長）
田中 尚子（公益財団法人日本健康スポーツ連盟 事務局長）

総括

本セミナーでは、メディカルフィットネス施設の立ち上げや運営、医療との連携、生活習慣病予防、心臓リハビリテーションとの融合など、現場に即した多様なテーマについて実践的な講演及び意見交換が行われた。

特に、医療機関と運動施設が連携した継続的な健康支援や、地域に根差した運営モデルに対する関心は高く、参加者からも多数の質問や意見が寄せられた。また、展示会来場者への制度周知を通じて、健康増進施設制度及びメディカルフィットネスの普及促進に寄与する有意義な機会となった。

(3) メディカルジャパン大阪 セミナー2025
(独立行政法人日本スポーツ振興センター助成金活用事業)

2026 年 3 月 12 日（木）にインテックス大阪にて開催された「メディカルジャパン大阪」会場内において、「メディカルフィットネスセミナー」を開催した。

本セミナーは、医療と運動を融合したメディカルフィットネスの可能性や、健康増進施設・指定運動療法施設制度の活用について、医療従事者、運動指導者、施設運営者等に向けて広く情報共有を行うことを目的として実施した。

近年、生活習慣病予防や健康寿命延伸に向けた取り組みが重要視される中、メディカルフィットネス施設における運営手法や、医療機関との連携によるリハビリテーション、会員定着支援等について、実践事例を交えた講演及びディスカッションを行った。会場では、多数の医療・運動関係者が参加し、活発な情報交換が行われた。

開催概要

開催日：2026 年 3 月 12 日（木）
会場：インテックス大阪（メディカルジャパン大阪 会場内）
主催：公益財団法人日本健康スポーツ連盟／日本メディカルフィットネス研究会
認定単位：
午前の部（10:00～11:30）講義 1.5 単位
昼の部（13:00～14:00）講義 1 単位
午後の部（15:00～16:00）講義 1 単位

プログラム構成および登壇者

「メディカルフィットネスの立ち上げ、運営のポイント」
四家 卓也 氏
（株式会社シグマ 取締役／Medical fitness Re-Birth ゼネラルマネージャー）

「メディカルフィットネスの立ち上げとその効果」
丸岡 徳裕 氏
（医療法人回生会 リハビリテーションセンター熊本回生会病院 診療部内科部長）

「理想論で終わらせない医療連携メディカルフィットネス」
村上 勇 氏
（株式会社ドリームゲート 代表取締役）

「メディカルフィットネス施設の開業に伴うエビデンスに基づいた集客と会員定着の為の運営法」

菊賀 信雅
（株式会社プロフィットジャパン 代表取締役）

「医療とフィットネスの連携トークセッション」
二階堂 暁
（八王子みなみ野心臓リハビリテーションクリニック 院長）
宮脇 大
（株式会社 Doctor's Fitness 代表医師）

「1 次・2 次・3 次予防を含めたリハビリテーション医学・医療の実際」
森原 徹 氏
（医療法人社団洛和会 丸太町リハビリテーションクリニック院長／洛和メディカルスポーツ京都丸太町 施設長）

パネルディスカッション
講師によるパネルディスカッションを実施
ファシリテーター：田中 尚子（公益財団法人日本健康スポーツ連盟 事務局長）

総括
本セミナーでは、メディカルフィットネス施設運営における実践的な集客手法や会員定着支援、医療機関との連携によるリハビリテーション、予防医療への展開等について、多角的な視点から講演及び意見交換が行われた。
特に、1 次予防から 3 次予防までを含めた包括的な健康支援や、医療とフィットネスが連携した地域健康づくりの重要性について、具体的な事例を交えた議論が行われ、参加者からも高い関心と多数の質問が寄せられた。
また、大規模展示会であるメディカルジャパン大阪において開催したことで、多くの医療・介護・運動分野関係者に対して、健康増進施設制度及びメディカルフィットネスの普及啓発を行う有意義な機会となった。

総　務　報　告

1. 評議員選定委員会

第１回評議員選定委員会

(1) 日　　時 令和 7 年 6 月 12 日
(2) 決議があったものとみなされた日　令和 7 年 6 月 12 日
(3) 決　　議　評議員全員の同意
(4) 議　　題（議決事項）
　　第 1 号議案　任期満了に伴う評議員選任の件

2.評議員会

第１回定時評議員会

(1) 日　　時 令和 7 年 6 月 24 日
(2) 決議があったものとみなされた日　令和 7 年 6 月 24 日
(3) 決　　議　評議員全員の同意
(4) 議　　題（議決事項）
　　第 1 号議案　令和 6 年度事業報告書並びに財務諸表承認の件

3.評議員の状況

評議員：11 名　令和 8 年 3 月 31 日現在

	氏名	所属先等
1	吉田 進	株式会社パワーハウス　代表取締役
2	師岡 文男	上智大学名誉教授
3	中島 喜代彦	九州医療スポーツ専門学校　相談役
4	石川 明	石川明デザイン研究所　代表
5	西村 淳	株式会社富士情報デザイン
6	森 祐章	株式会社ＭＯＴＯ&i　取締役
7	野本 恵子	野本歯科医院　副院長
8	竹内 祐輔	日本建物株式会社

9	西原 達次	公立大学法人九州歯科大学 理事長・学長
10	久野 和禎	コンウェイ株式会社 代表取締役社長
11	水嶋 啓太	

4.理事会

第 1 回定時理事会

（1）日　　時 令和 7 年 6 月 4 日
（2）場　　所 共和会館　4 階Ｂ室
（3）理　　事　出席 8 名、欠席 5 名
（4）議　　題（議決事項）
第 1 号議案　令和 6 年度事業報告書並びに財務諸表承認の件
第 2 号議案　定時評議員会の開催承認の件

その他　　令和 7 年度事業進捗状況

第 1 回臨時理事会

（1）日　　時 令和 7 年 6 月 24 日
（2）場　　所 共和会館　1 階Ｂ室
（3）理　　事　出席 7 名、欠席 4 名
（4）議　　題（議決事項）
第 1 号議案　代表理事の選任
第 2 号議案　執行理事の選任
第 3 号議案　新評議員候補者の推薦承認の件

その他　　令和 7 年度事業進捗状況

第 2 回定時理事会

（1）日　　時 令和 8 年 3 月 25 日
（2）場　　所 書面による決議
（3）理　　事 出席 8 名、欠席 3 名
（4）議　　題（議決事項）
第 1 号議案　令和 8 年度事業計画および収支予算について
第 2 号議案　新理事選任の件
第 3 号議案　評議員選定委員選任の件

その他　　令和８年度事業進捗状況の報告

5.役員の状況

理事： 11 名、監事：3 名　令和８年３月 31 日現在

	役職	氏名	所属先、勤務先等
1	理事長	水嶋 昭彦	学校法人　国際志学園　　理事長
2	副理事長	赤木　恭平	日本オリンピック委員会　名誉委員
3	副理事長	石川　晋	元文部省　文部大臣官房　審議官
4	専務理事	田中　尚子	公益財団法人日本健康スポーツ連盟　事務局長
5	常務理事	三浦　政基	元日本プロ野球ＯＢクラブ　副会長
6	理事	衛藤　幸司	公益財団法人日本健康スポーツ連盟
7	理事	月岡　泰志	株式会社ＩＥＡ　会長
8	理事	佐伯　聰夫	筑波大学名誉教授
9	理事	安達　宣郎	元トップリーグ連携機構 常務理事
10	理事	大川　博己	元北九州市　特命理事
11	理事	中尾　尚志	元公益社団法人日本ボディビルフィットネス連盟　副会長
1	監事	藤岡　秀樹	藤岡秀樹法律事務所　弁護士
2	監事	太田　諭哉	公認会計士、税理士
3	監事	奥村　眞吾	奥村税理士事務所　代表

6.監事監査

(1)　監査人：藤岡秀樹監事、太田諭哉監事、奥村眞吾監事
(2)　日　時：令和７年６月３日
(3)　監 査 内 容：令和６年度事業の執行および決算に関して

7.職員の状況　　令和８年３月 31 日現在　　田中尚子、衛藤幸司　職員数 2 名

(別表)１．令和７年度　健康増進施設の新規および更新施設リスト

	令和７年度　厚生労働大臣認定健康増進施設　新規認定施設一覧	
No.	施設名	施 設 の 所 在 地
1	関西医科大学 くずは駅中健康・健診センター	大阪府枚方市
2	コスモスポーツクラブ	茨城県筑西市
3	AL CLINIC & Medical Fitness	東京都中央区
4	メディカルフィットネス TOKU	千葉県千葉市
5	心身健康倶楽部 イオン碑文谷店	東京都目黒区
6	MEDICAL FITNESS 北6条	北海道札幌市
7	THE GOOD GYM	広島県広島市
8	MEDICAL FITNESS 真駒内	北海道札幌市
9	RAYSE GYM	山口県柳井市
10	医療法人社団啓守会 ふじみ野メディカルフィットネス	埼玉県ふじみ野市
11	アスリハジム	北海道札幌市
12	リコンディショニング ラボ・ライフ MICHIBIKI	東京都渋谷区
13	レクサーパーソナルジム天六店	大阪府大阪市
14	あやクリニックスタジオ	神奈川県小田原市
15	うめきた温泉 蓮	大阪府大阪市
16	パーソナルトレーニングジム オールマイティ MATSUYAMA	東京都渋谷区
17	Well−being Fitness	兵庫県宝塚市
18	UGOQ FITNESS & GYM 栗原店	宮城県栗原市
19	川崎市幸スポーツセンター	神奈川県川崎市
20	水巻天然温泉いちょうの湯 スポーツクラブ EVERY	福岡県遠賀郡

21	健康づくりジム　ウェルネスびわ湖	滋賀県大津市
22	Weekly	神奈川県藤沢市
23	医療法人社団時正会　健康支援センターTMGFit 西東京	東京都西東京市
24	メディカルフィットネス　MOVE ON	岩手県盛岡市
25	メディカルフィットネス　リ・バース　いわき店	福島県いわき市
26	STUDIO G FITNESS 24	大阪府堺市
27	岩槻南メディカルフィットネス	埼玉県さいたま市
28	メディカルパーソナルジム　シープス	埼玉県草加市
29	医療法人　藤仁会　メディカルフィットネス　いぶき	青森県上北郡
30	モビリティケアプラス虎ノ門ジム	東京都港区
31	グランツフィットネス	静岡県静岡市
32	フラクタルワークアウト	東京都渋谷区
33	medical fitness lab LIVET	愛知県名古屋市
34	メディカルフィットネス　Re-turn	大阪府豊中市
35	榊原病院メディカルフィットネス	岡山県岡山市

	令和７年度　厚生労働大臣認定健康増進施設　更新施設一覧	
No.	施設名	施 設 の 所 在 地
1	フィットネスクラブ　ウイング青森	青森県青森市
2	疾病予防運動施設　メディカルフィットネスさくら	福島県須賀川市
3	浦安市運動公園総合体育館・屋内水泳プール	千葉県浦安市
4	ヴィムスポーツアベニュウ	東京都杉並区
5	福井市東山健康運動公園	福井県福井市
6	松本歯科大学病院健康づくりセンター	長野県塩尻市
7	すいめいヘルスクラブ	岐阜県下呂市
8	メディカルフィットネスクラブSHIN－SHIN	京都府京都市
9	医療法人　同仁会（社団）同仁会疾病予防研究所	京都府京都市
10	MediTAS ZeloFit（メディタス　ゼロフィット）	奈良県生駒市
11	フィットネス＆スパZeroスポーツ	鳥取県鳥取市
12	済生会フィットネス＆カルチャークラブ	岡山県岡山市
13	はぁもにぃ倉敷	岡山県倉敷市
14	一般財団法人津山慈風会　フィットネス＆スパ　カルヴァータ	岡山県津山市
15	メディカルフィットネスセンター和仁会	福岡県福岡市
16	医療法人回生会　メディカル＆フィットネスセンター　メディフィット回生会	熊本県上益城郡
17	メディカルフィットネス　フィオーレ	宮崎県宮崎市
18	沖縄文化健康センター　ペアーレ沖縄・タピック	沖縄県沖縄市
19	メディカルフィットネスぎんばる	沖縄県国頭郡

(別表)2.　令和 7 年度　指定運動療法施設の指定施設リスト

	令 7 年度　指定運動療法施設指定一覧	
No.	施設名	施 設 の 所 在 地
1	Body Make Studio Salus　目黒店	東京都品川区
2	トレリハ CLUB	北海道札幌市
3	かたぎり塾　町屋店	荒川区荒川
4	トランスフォーム太陽	山口県萩市
5	オーバルスポーツコム円山	岡山県岡山市
6	フィッタ広島	広島県広島市
7	メディカルフィットネス Orange Wellness	福島県郡山市
8	フィットネスクラブ　コ・ス・パ京都リサーチパーク 24	京都府京都市
9	関西医科大学　くずは駅中健康・健診センター	大阪府枚方市
10	フィットネスクラブ　コ・ス・パ松井山手 24	京都府京都市
11	フィットネスクラブ　コ・ス・パ二条 24	京都府京都市
12	フィットネスクラブ　コ・ス・パ長岡京	京都府京都市
13	医療法人慶友会　健康増進っ説　K-FIT.	茨城県守谷市
14	メディカルフィットネス TOKU	千葉県千葉市
15	Medical Fitness SHAFT	埼玉県入間市
16	スポーツクラブ FLEX	長野県飯田市
17	フィットネススタジオ　Light Body　NEO	三重県志摩市
18	AL CLINC & Medical Fitness	東京都中央区
19	MEDICAL FITNESS 北6条	北海道札幌市
20	マリエフィットネスクラブ	広島県広島市
21	コスモスポーツクラブ	茨城県筑西市

22	THE GOOD GYM	広島県広島市
23	Medical Fitness Plus S	千葉県四街道市
24	MEDICAL FITNESS 真駒内	北海道札幌市
25	医療法人社団啓守会 ふじみ野メディカルフィットネス	埼玉県ふじみ野市
26	アスリハジム	北海道札幌市
27	うめきた温泉 蓮	大阪府大阪市
28	パーソナルトレーニングジム オールマイティ MATSUYAMA	東京都渋谷区
29	心身健康倶楽部 イオン碑文谷店	東京都目黒区
30	リコンディショニング ラボ・ライフ MICHIBIKI	東京都渋谷区
31	Weekly	神奈川県藤沢市
32	メディカルフィットネス リ・バース いわき本店	福島県いわき市
33	メディカルフィットネス MOVE ON	岩手県盛岡市
34	STUDIO G FITNESS 24	大阪府堺市
35	健康づくりジム ウェルネスびわ湖	滋賀県大津市